

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ			38
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ			63
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ			61
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ			47
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ			69
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ			51
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向			38
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向			41
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向			57
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向			33

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「思索・客観性」であるが、「活動・身体性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「思索・客観性」の人のパーソナリティスケッチ
 努力を信条とし、自分が納得できるまでやり通す、徹底性を持った人物です。一度始めたことは時間がかかっても途中で投げ出すことはなく、持続させていくことができます。派手なパフォーマンスはなくても、落ち着いていて、安心できる人物といえそうです。自分なりの確たる信念や常識的な社会通念を持ち備えています。規則や秩序に対して頑固にこだわるというほどではありません。発想も堅苦しいものばかりではなく、ユニークさも持ち合わせていて、独自の価値観のもとで、自発的で自主的な取り組みをし、判断します。何事も思い立ったらすぐ実行という身軽さよりも、納得できる筋道の通った考え方を大切にします。とはいうものの、自分の世界に閉じこもった暗さはなく、社会性も持ち合わせています。自分なりに社会的アンテナを張っていて、交友関係も様々です。考え方も現実的で、自分を深く内省していて、豊かな内面性が感じられます。客観的なものの見方ができ、正確な状況把握が期待できます。

●もう一方の性格特性
 精神的に安定しているほうで、不安だとか劣等感といったものとは縁がありません。対人関係においても、オドオドしたり、イライラしたりすることはなく、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由があるようです。暗い陰のようなものではなく、明るく、積極的な人物です。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。
 まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニターージュを作成しました。外見的な顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。
 2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。
 あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指数
積極性・活発度			52
周囲との協調性			61
責任感・一貫性			71
自分への信頼度			53
指導・指示傾向			56
仲間との共感性			63
感情の安定度合			61
他者への従順性			52
自ら進んで実行			44
社会的自我確立			70

●「責任感・一貫性」について
 責任感・一貫性とは、引き受けた任務や役割分担に対する認識度を表し、自らが責任をもって物事を最後まで投げ出さない姿勢を意味します。職務や役割に対する責任感と言い換えられます。この傾向が高い場合は、
 ▼見込みがないことでも、気持ちの切り替えができず、新しい事に控えめになる
 ▼思い入れが強い分、うまくいかない時は、他罰的になるか必要以上に自分に責任を感じてしまう
 といった行動になりがちです。何でも引き受けてしまうと、逆に身動きがとれなくなります。分担すべきところは分担するなど割り切る姿勢も必要です。真剣な一生懸命さはいいいのですが、時には息抜きも必要です。

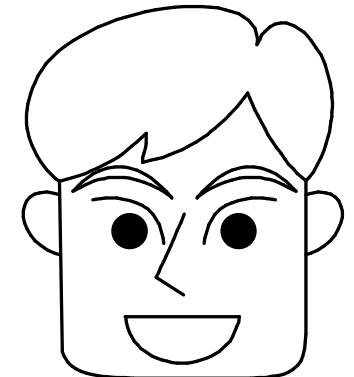
●「社会的自我確立」について
 社会的自我確立とは、今の自分のおかれた環境や現実に対する自己の内面的な満足度を表しています。本来思い描いている自分のあるべき姿と現状に差があるときなどにこの指数は下がります。この傾向が高い場合は
 ▼自分の生き方や方向性に自信を持っているために、状況の変化や周囲が見えなくなることもある
 ▼仮に間違った方向に進んでしまっても、気づかないことがある
 といったことが考えられます。自分に自信をもって、「今」が望ましいと思うあまり、硬直した状態にならないよう、時には自分の生き方や方向性について、もう一度、時間をかけて考えてみることも必要です。

3 心理イメージ

■心理イメージをイラストであらわすと

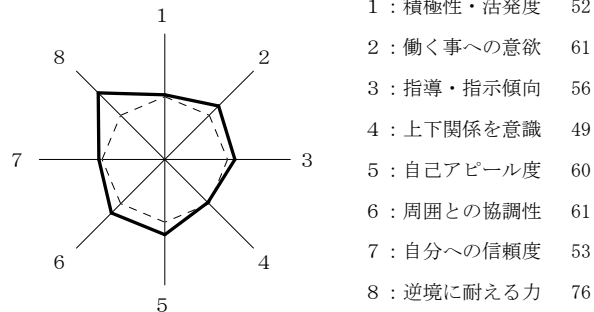
がんばり屋の性格 → 角張った顔
 他人の忠告を適度に聞き入れる → まっすぐな眉
 状況によって指示的行動 → 普通の眉
 ヤル気あふれている → 大きな瞳
 新しいことをとりいれたい → 目尻が上がっている
 目立ちたがり屋ではない → 普通の鼻
 人と一緒にいるのが好き → 笑った口元

となり、右のような顔ができあがります。



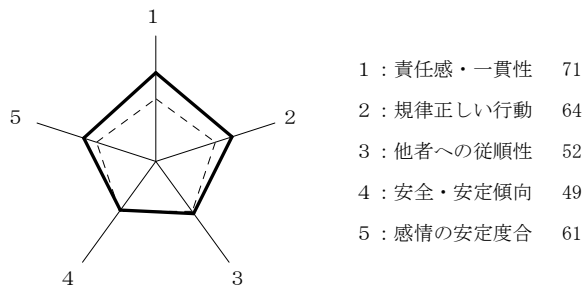
4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



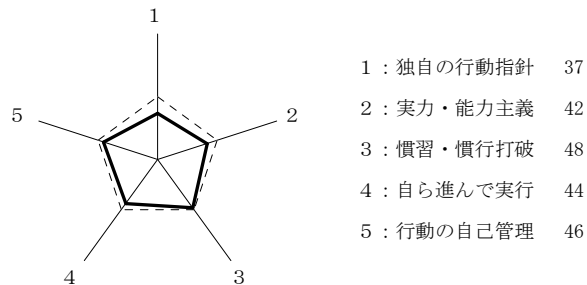
どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子がうかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



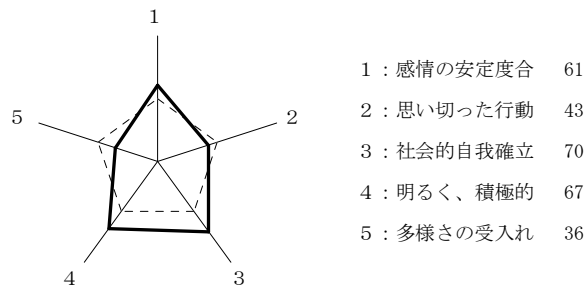
責任感が強く、やると決めたことは最後まで面倒を見るといった姿勢がうかがえます。周囲の出来事に振り回されることもなく、目的を見失うことはありません。精神面での強さが感じられますので、役割や業務に対する認識を強めていくことで、周囲からも頼りにされる存在となっていくことと思われます。

■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



自分の力を信じて先へ進むよりも、周囲に合わせて穏やかに過ごしたい思いのほうが強いようです。ただし、単なる仲良し集団で終わってしまうのではなく、自分らしさを発揮したいならば、気になることや興味のあることを追求していくべきです。ときには周囲の思惑やなれ合い的な態度に背を向けてみるのもいいでしょう。

■強い意志を持ち前に進もうとする傾向

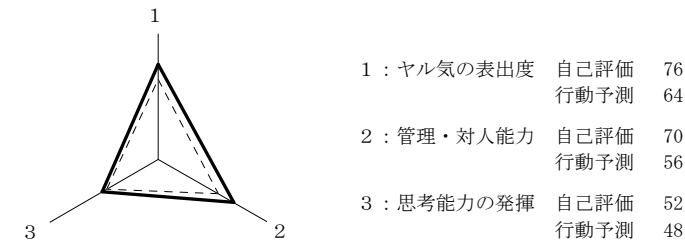


たとえトラブルが生じて、落ち着いて処理できるようです。一度決めたことは迷わずに突き進んでいこうとします。ときには軽はずみな行動があるかもしれませんが、そんなときでも事後の的確な対処をすることができるでしょう。周囲との協力関係を強化することで、より信頼される存在となれるでしょう。

————— : あなたの得点
----- : 基準(50点)

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



■ヤル気の出出度について

積極的に仕事を進める能力があり、自分でも自信を持って取り組んでいる様子がうかがえます。どんなことでも、自分で自分をきちんと評価していなければ、本来の力は発揮できません。あなたの行動の結果は、周囲も評価していることと思われます。目的を見失わず、ますます前進していくことを期待します。ただし、周囲とのバランスには注意したほうがよさそうです。自分の求められている役割や仕事内容について再確認し、一人の考えで突っ走ってしまうことのないように気をつけて下さい。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を發揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していなくては、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがとまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

自分自身を客観的に見ている一面があり、必要以上に過信することはないのですが、反面、自分の限界を勝手にここと決めてしまい、それ以上の力を出せなくしています。単にわかっているだけではなく、日頃から関係する分野に関する情報収集に努めるといいでしょう。専門知識や技術力などは、一朝一夕で身につくものではありません。小さいことの積み重ねが自信につながります。適当なところであきらめてしまうことなく、ひとつのことを突き詰めて考えてみると、そこから新しい突破口が見いだせます。

————— : 自己評価
----- : 行動予測